

県政の発展を!



ながお 長尾トモ子

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
一定価1部105円(税込み)
＜毎週火曜日発行＞

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

自民党県連は、わが国の政権を担う政府与党「自民党」の地方組織として、32名の県議が丸となつて福島県の発展に真剣に取り組んでいます。

わが福島県は、これまで空港や高速道路などの交通網の整備や農林水産業、商工業の振興、県民福祉・医療の向上、教育の充実などに発展してまいりましたが、これからは国も地方も大変厳しい財政状況の中で、景気・雇用対策や少子高齢社会への対応、新時代に対応する農林水産業のあり方、教育改革、国際化の推進など山積する課題に取り組んでいかなければなりません。

したがって自民党県連は、経験と実績があり、情熱あふれる長尾トモ子県議の活動を全面的に支援しています。

夢と情熱を郷土づくりに…

長尾トモ子県議のプロファイル

- **学歴**
 - 昭和23年8月15日生まれ
 - 郡山市立富田小学校
 - 郡山市立第六中学校(徒手体操部)
 - 福島県立安積女子高等学校(器械体操部)
 - 郡山女子大短期大学保育科(体操部)
- **職歴**
 - 知的障害者施設はんだい学園保母(昭44～3年間)
 - 今泉学園双葉幼稚園主任教諭(昭48～14年間)
 - チャイルドハウスつねの保育園園長(昭63年2月)
 - チャイルドハウスつねの園長(開園20年目)
 - 志賀学園並木幼稚園副園長(兼務4年間)
 - 郡山食品工業団地福祉センター保育園園長(兼務11年間)
 - ※35年以上幼児教育を行う
 - 福島県議会議員(平成17年4月～)
 - *自民党県連福祉環境部会委員
 - *県議会農林水産部会委員
 - *次世代育成支援特別委員
- **公職・審議会等**
 - 三つくしま男女共同参画推進委員
 - 郡山市環境審議会委員
 - 福島県ゼロエミッション審議員
 - 福島県河川審議員
 - 福島県環境審議員
 - 郡山市第二次エンゼルプラン策定懇話会委員
 - 郡山市第四次総合計画審議員
- **社会活動**
 - 郡山市私立保育園連絡協議会会長
 - 福島県地域保育所協議会副会長
 - 蓬瀬川ふれあい通り実行委員会代表
 - 三つくまYOSAKOIまつりを広める会代表
 - NPOフー太郎の森基金
 - NPO芸術の森
 - NPOユニバーサルデザインなど



2006/09/15
自民党各種団体要望聴取会で、福祉医療団体からの要望を受ける長尾県議

入党の手続き

一人の紹介者

入党申込書

一般党員 党員一人のすいせんを必要とします。最寄りの支部で簡単に手続きができます。党費は、年額4,000円です。

特別党員 「自由民主党のために、財政的な面でもっと支援したい」とお考えいただいている方のための党員制度です。党費は、年額20,000円以上ならいくらでも自由に決めていただけます。手続きは、党本部、都道府県支部連合会、選挙区支部、比例区支部、地域支部及び職域支部のいずれでもできます。

総裁選挙の年の前年と前々年の2年間継続して党費を納めた党員は、総裁選挙の有権者となります。あなたも入党して、総裁を選んでみませんか。

若者が定着する希望の持てる福島県を築きます!

国も地方も大変厳しい財政状況の中、予想を上回る高齢化の進展や少子化傾向は、今後の国づくり、地域づくりの上で様々な影響を及ぼす深刻な課題となっています。

過疎地域を多く抱える福島県が、安全に安心して暮らせる県土づくりに努め、若者が定住する希望の持てる福島県を築くことができるかどうか。ここに政治の役割があり、行政の真価が問われます。

これからは、地方が知恵を絞る時代です。

無難な県政に終始していたのでは福島県に光は差し込みません。

私たち自民党福島県連は、県議会の中で単独過半数を越える議席数を与えていただき、県民の皆様から一番信頼され期待されている政策集団としての責任があります。

常に県民の立場から県政を厳しくチェックし、是々非々のスタンスで行政と向き合い、時には真の改革政党として思い切った提言を行ってまいります。

入札制度については、県発注公共事業の談合を防止するため、抜本的に改革しているところです。しかし、いかなる制度であっても、それを運用するのは人間であり、二度と同じ過ちを繰り返さないよう、県議会として常に緊張感を保ちチェック機能を十分働かせてまいります。と同時に、一般競争入札制度を全面導入する新しい発注システムが、真に県民のためになるのかどうかを十分検証し、県民の信頼回復と適正な公共事業の推進に努めてまいります。

自由民主党福島県連は、我が国の政権を担う政府与党の地方組織として、時には大いにももの申しながら「若人に夢と希望」「暮らしが生き生き」「将来への安定」が実感できる福島県を築いて参る決意です。

具体的施策

地方分権の推進

- 地方財政の充実強化
- 市町村合併の推進
- 合併した市町の建設計画への支援強化
- 市町村と県の役割分担の明確化と権限移譲の促進
- 広域調整における県のリーダーシップの強化

県庁の組織改革

- 新しい入札制度の円滑な推進と建設技術センターの廃止に向けた検討促進
- 県職員の天下りや年功序列制度などについて県民の目線に立った見直し
- 公社等外郭団体の改廃を含む行政機構の抜本的改革
- アウトソーシングの推進など行政への民間活用の促進
- 県職員の適正な定数管理
- 県職員の意識改革などのための職員研修の充実

教育改革

- 未来の福島県を背負って立つ人間性豊かな人材の育成
- 障がいのある児童と障がいのない児童が共に学ぶ特別支援教育の充実
- いのちの教育(道徳教育・健康教育・性教育)の推進
- 食育を推進するための指導体制の強化
- 家庭教育に対する支援強化
- いじめ・虐待・不登校などへの対応強化
- 私立学校に対する支援強化
- 学力アップのための指導力の向上
- 教職員の資質向上
- 30人程度学級の推進
- 中・高一貫教育の推進
- 幼児教育の充実
- 開かれた学校づくりの推進
- スポーツ・文化の振興
- 生涯教育の充実



少子化・子育て支援の強化

- 少子化・子育て支援対策の全庁的な取り組みの強化
- 子供を虐待や凶悪事件・事故などから守る体制の強化
- 青少年が健全に育成するための環境整備の促進
- 子育て世代が働きやすい労働環境の確立
- 次世代育成支援企業認証制度の促進
- 地域の子育て支援システムの充実
- 放課後子どもプランの推進
- 認定子ども園の設置促進
- 男性の育児参加の促進
- 保育サービスの充実



高齢者及び障がい者にやさしい福祉社会の実現

- ユニバーサルデザインによる全ての人にやさしい社会の形成
- 高齢者の健康づくりのための施策の推進
- 障がい児者の地域療育等支援事業の推進
- 障がい者の自立支援策の推進
- 小規模作業所への支援の充実
- 高齢者福祉施設の整備促進
- 介護保険制度の充実



県民医療の充実

- 医科大学及び県立病院機能の充実強化による県民医療の充実
- 医師確保対策の強化
- 看護職員の確保と質の向上
- 高度医療・へき地医療など県民の期待に応え得る県立病院改革の断行
- 周産期医療・小児医療・救急医療の充実
- こころの健康の促進
- 献血事業の促進
- 癌対策の強化

男女共同参画社会の推進

- 男女が共に尊重し、お互いの能力を発揮できる社会の構築
- 男女の格差のない労働環境の改善促進
- 女性の意見が県の政策に反映できる行政しくみの強化
- ドメスティックバイオレンスなど女性の人権の保護

経済を活性化

- 景気回復のための全庁あげた積極的な取り組み
- 本県経済を支える中小企業を振興するための支援策の強化
- 各種制度資金の充実と弾力的な運用
- 個人連帯保証人制度の借り手側に立った制度転換の推進
- 国際化に対応する経済交流の促進
- 福島県の地域特性を活かした「観光ふくしま」の戦略的事業の展開
- すそ野の広い業種の企業誘致の促進

仕事・生活の安定

- 新規高校卒業者の就職の促進とマッチングの推進
- 雇用拡大につながる企業・工場等の誘致促進
- ニート・フリーターへの就業対策の強化
- 再就職・再チャレンジのための職業訓練の強化
- 求人紹介機能の充実
- 正規労働者の雇用拡大

商工業の振興

- 商業まちづくり推進条例に基づく適正な商業施設の配置
- 県立技術専門校の短大化など職業訓練機能の高度化
- 産学連携など新技術研究・開発機能の強化
- 工業団地の整備と企業の誘致促進
- 中心市街地の活性化の推進
- ものづくり産業の振興
- 新しい産業の育成
- 地場産業の振興
- 地産地消の推進



農林水産業の振興

- 食-農-環境が融合した新しい福島型農業の確立
- グリーンツーリズムなど都市と農村の交流促進
- 本県の豊かな海洋資源を活かした新たな漁業の確立
- 大消費地に向けたPR強化など農林水産物の消費拡大
- 売れるふくしま米の生産振興と戦略的な販売
- ブラックバス・カワウなどの食害対策の強化
- 県産木材の安定供給と消費拡大
- 新品種・新技術の研究開発の推進
- ほ場整備など生産基盤の整備促進
- 園芸産地の育成
- 畜産経営の安定対策の推進
- 農林水産物の消費拡大
- 森林整備の促進
- 担い手の育成
- つくり育てる漁業の推進



交通・物流対策

- 常磐自動車道の仙台延伸の早期実現
- 東北中央自動車道の整備促進
- 東北横断自動車道路(いわき・新潟線)の4車線化の促進
- 阿武隈東道路の整備促進
- 会津縦貫高規格道路の整備促進
- スマートインターチェンジの設置促進
- 生活道路の拡幅及び歩道設置など県民生活に密着した改良促進
- 農道・林道の整備促進
- 地方生活バス路線の維持・確保対策の推進
- 福島空港の利活用促進
- 空港アクセスの整備促進
- 重要港湾(小名浜港・相馬港)の整備と利活用促進
- 空と海と陸の物流機能の強化

過疎・中山間地域の振興

- 県過疎地域振興条例に基づく総合的な振興施策の推進
- 生活基盤等の整備促進
- 産業の振興
- 地域間交流と連携の促進
- 担い手の育成
- 集落等に対する支援促進

環境の保全

- 地球温暖化対策の取り組み強化と県民及び事業所への啓発促進
- 循環の理念に基づく本県の豊かな自然を守るための環境対策の推進
- バイオマスや風力発電など環境にやさしい新エネルギーの導入促進
- 森林環境税及び産業廃棄物税の有効活用による施策の推進
- 尾瀬国立公園の実現を契機とした環境保護の強化
- 産業廃棄物の適正処理と不法投棄防止対策の推進
- 「もったいない運動」への支援促進
- 猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の水質保全
- ゴミの減量化への取り組み強化
- 良好な景観の保全



情報化の推進

- 光ファイバー通信基盤の整備促進
- 地上デジタル放送への対応強化
- 携帯電話の通信エリアの拡大
- 個人情報管理の徹底
- 電子自治体の推進



県民生活の安全・安心

- 消防・防災体制の整備強化
- 道路や河川の整備促進による災害や事故の未然防止
- 学校などの公共施設の耐震強化
- 大規模災害やテロなどに対する危機管理の強化
- 豪雪地帯における除排雪体制の整備促進
- 治安の強化による犯罪のない社会づくりの推進
- 被害者救済対策の充実
- 交通安全対策の推進
- 暴力団から県民生活を守る組織犯罪対策の強化
- トレーサビリティシステムなど食の安全確保対策の推進
- 有害科学物質対策の推進

原子力政策の強化

- 立地地域住民の安全・安心を最優先にした前向きな取り組み
- 国・県・立地地域との対話の促進
- 原子力発電立地地域の振興
- 電源三法交付金及び核燃料税の有効活用